

第 14 回札幌市感染症対策本部会議 会議録

日 時：令和 2 年 8 月 27 日（木） 17 時 00 分～17 時 20 分

場 所：本庁 12 階 1～3 号会議室

出席者：別紙座席表のとおり

【危機管理対策室長】

ただいまから、第 14 回札幌市感染症対策本部会議を開催いたします。

一昨日、8 月 25 日に北海道の対策本部が開催され、イベントの開催制限について、9 月末まで期間を延長することが決定されました。また、新たな警戒ステージの考え方や指標についても示されたところでもあります。

これらを受けまして、今後の対応等について、あらためて本部長であります秋元市長からご指示をいただくため、本日の会議を開催いたします。

はじめに、会議次第の（２）「現時点の発生状況と対応状況について」及び（３）「北海道における取組について」を一括して事務局からご報告させていただきます。

【危機管理対策部長】

はじめに、札幌市の発生状況についてご説明します。

資料、「札幌市の新型コロナウイルスに係る対応(概要)」をご覧ください。
8 月 26 日現在の市内の感染状況は、陽性者累計 1,116 名、現在患者数 71 名、そのうち、入院者 36 名、宿泊療養者 33 名、調整中 2 名となっています。

男女別・年代別内訳は、真ん中の計が陽性者累計の年代別の人数です。非公表の方がいらっしゃいますが、20 代が一番多くなっており、50 代、70 代が続いている状況です。

前回の対策本部会議時の状況では、50 代・60 代・70 代の方が多かったのですが、この 1 か月で 20 代・30 代の方が増えたことがわかります。

現在患者の年代別の内訳は、下に記載のとおりです。

資料 1 のグラフが、8 月 26 日現在の札幌市における発症状況、資料 2 が、濃厚接触の有無別の状況、資料 3 が、一週間ごとの市内感染者数の推移です。

資料4が直近1週間ごとの患者等の状況です。

直近1週間は上から3つ目の四角、8月20日から8月26日の新規感染者数が41、リンクあり13、リンクなし28となっており、調査中のものもございませが、現時点で68%の割合でリンクなしとなっています。

札幌市の感染状況については以上です。

続きまして、北海道の状況についてご説明します。

資料「北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議第22回本部会議」をご覧ください。

25日(火)に、北海道の本部会議が開催された時の資料です。

4ページ、国の対応ですが、(73)分科会を開催し、大規模イベントの開催制限を9月末まで再延長する事を決定しております。

道の動きですが、道は25日に対策本部会議を開催しました。

資料2は、改訂前の6月以降の段階的緩和の資料です。7月27日に取組方針を改訂いたしまして、イベントの開催制限を8月末まで延長しています。裏面は、先日の本部会議で改訂されたものです。移行期間を9月末まで延長しています。

資料3-1は、政府の分科会の提言書です。

政府では、ステージⅠからステージⅣの4つに区分し、ステージⅢとステージⅣについては、移行の目安を示し、施策についても提言があったところです。

資料3-2「新しい警戒ステージについて」をご覧ください。

警戒ステージの設定の考え方が示されています。国の提言に準ずることを基本として、道の実情を踏まえて設定する、となっています。

2ページは、北海道の警戒ステージの状況と対応の考え方です。

右に、国の分科会のステージⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳとありますが、北海道では、国のⅡを2つに分けて、1から5の5つのステージに分けるとされています。そのほか、警戒ステージごとの対応の目安や移行の目安が記載されています。事務局からは以上です。

【危機管理対策室長】

続きまして、会議次第(4)、各局区における取組状況等について、ご報告の

ある方はいらっしゃいますか。

いらっしゃらないようですので、今後の対応等について、本部長である秋元市長からお願いします。

【本部長（秋元市長）】

6月以降、段階的に緩和されてきた外出自粛やイベントの開催制限については、本来、7月末の全面解除を予定しておりましたが、全国的な感染者の増加を踏まえ、8月末まで延期していました。しかしながら、8月の感染者数も依然として高水準にあることから、政府及び北海道において、再度、イベントの開催制限を9月末まで延期としたところであります。

札幌市の状況を見てみますと、8月は、7月に比べて新規感染者数が多く、更には感染経路を追えない感染者の割合も高くなっており、好転している状況ではないと判断しています。9月以降についても当面、国、北海道の対応と同様にイベントの開催については5,000人以下、又は定員の50%以内のどちらか少ない人数を上限とする開催制限を、9月末まで維持することとしたいと思えます。

また、北海道が新たな5つの「警戒ステージ」を設定したところでありますが、現状の北海道の感染状況が「ステージ1」であることも表明されました。

今後は、この警戒ステージの考えに基づいて、北海道と連携し、感染対策を進めることとなるが、引き続き、感染拡大防止と社会経済活動の活性化の両立を図っていきたい。

これらを踏まえ、本部長として2点、指示します。

まず、来年度の行政運営についてであります。

- ・ 予算要求や定数機構要求などの時期を迎え、各局では、来年度の実施事業について検討しているところであると思いますが、新型コロナウイルス感染症の感染が引き続き、影響を及ぼすこと、つまりは長期化が想定されることを前提とした事業構築を進めてください。
- ・ 感染症対策の業務については保健所を中心に、現在、各局区からの応援体制で対応にあたっております。この状況はしばらく続けていかなければならず、限られた人員の中で対応していく必要があることから、保健

所が所管する感染症対策業務はもちろんのこと、各局区における所管業務についても民間委託や省力化を積極的に進めるようにしてください。次に、感染者や医療関係者などへの偏見・差別の根絶についてであります。

- ・ 感染者や濃厚接触者、医療・介護従事者やその家族に対する心無い偏見や差別が全国的に問題となっておりますが、これらの行為は断じて許されるものではありません。
- ・ 感染症対策は、市民の皆さんに正しい知識を持っていただき、正しく理解する、正しく恐れるという状況の中で、実行される必要があることから、各局においては、正確な情報発信を続け、偏見・差別の根絶に向けて周知啓発に徹底して取り組むようにしてください。

市民の皆さんにおかれましても、偏見・差別のない社会の実現にご協力をお願いします。感染対策については、引き続き、「3密」の回避、こまめな手洗い、消毒やマスクの着用、体調不良時には外出、出勤を控えるなどの基本的な取組を徹底してください。また、飲食店などを利用される場合には、『『北海道スタイル』安心宣言』などが掲示されているお店を選ぶなど、リスクを低減するように、引き続き、ご協力をいただきたいと思います。

とりわけ、複数人数の会食の場で感染が拡大したと考えられる事例が見受けられます。屋内・屋外を問わず、飲食時にはマスクを外すこととなりますが、マスクなしで長時間、近距離で会話することのリスクについて、ご注意ください。飛沫感染が起きないように対策をして飲食していただくようお願いします。

事業者の皆さんにおかれましては、業種別の感染予防ガイドラインの遵守など、今一度、職場や店舗、イベント会場などにおける感染拡大防止策についてご確認いただき、従業員の皆さんの体調管理の徹底や、市民の方が安心して利用できる環境づくりを進めていただきますよう、お願いします。

発熱など、体調に異常があることを認知しながらも、お休みを取りたいということを言い出せない方も多いようですので、ぜひ、事業者の皆さんには、従業員の皆さんの体調についても注意を払い、感染拡大防止に努めていただきたいと思います。

私からは以上です。

【危機管理対策室長】

各局区におかれましては、ただ今の本部長からの指示事項を受け、今後の対応をよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。